

tri toridori

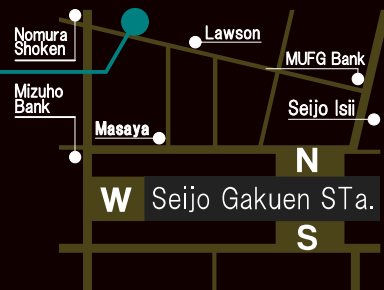
白佐武史 cello
鈴木崇朗 bandoneon
角 脇 真 piano

2019 09月25日(水)

開場 19:30
開演 20:00~
(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)
MC 3500円+2drinks order

CAFE **BEULMANS**
03-3484-0047
info.cafebeulmans@gmail.com
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



白佐武史

チェロ奏者。北海道釧路市出身。5歳よりピアノ、15歳よりコントラバスとチェロを始める。武蔵野音楽大学卒業、同大学院博士前期課程修了。卒業後渡独し、ゲヴァントハウス管弦楽団ソロ首席奏者Christian Giger氏のもとでさらに研鑽を積む。ルーマニア国際音楽コンクール、ザルツブルグ=モーツァルト国際室内楽コンクール等入賞。これまでに由紀さおり&ピンクマルティニ、宇多田ヒカルをはじめ、数多くの著名なアーティストのツアーやレコーディングに参加。新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員を経て、現在東京を拠点にオーケストラ奏者、室内楽奏者、スタジオミュージシャンとしての活動を中心としながら、ブラジル音楽、タンゴなど幅広いジャンルの演奏活動を全国各地で行っている。また、演劇集団キャラメルボックスへの楽曲提供など、作編曲も手掛ける。2013年より地元釧路市にて、音楽文化の普及と振興を目的とした様々な企画のプロデュースを定期的に行っている。チェロを桜井敬一、Clemens Doll、花崎薫の各氏に、室内楽奏法をKálmán Berkes、Zsolt Tibay、Kurt Guntnerの各氏に師事。



鈴木崇朗

札幌生まれ。2001年よりバンドネオンを小松亮太氏に師事。2005年には小松亮太&オーケスタティピカのメンバーとして南米ツアーに参加し、ペルー、パラグアイ、アルゼンチン、ブラジルで公演。同年、単身アルゼンチンに留学し、バンドネオンをオスバルド・モンテス氏に師事。また、小松真知子&タンゴクリスタルのメンバーとしてアルゼンチン・サン・ルイス州で行われた国際タンゴフェスティバルに参加。2007、2008年にはアルゼンチンに留学し、バンドネオンをフリオ・パネ氏、ネストル・マルコーニ氏に師事。2010年にはオーケスタ・アウロラのメンバーとしてアルゼンチンブエノスアイレスでのレコーディング、ブエノスアイレス・タンゴフェスティバルでの演奏、ウルグアイモンテビデオでの演奏に参加。2014年、2015年とアンドレス・リネツキー楽団のメンバーとして国内ツアーに参加。これまでに、あがた森魚、大貫妙子、坂本美雨、渡辺えり、姿月あさと等と共演。現在国内外でのコンサート、レコーディング等で活動中。自身のグループ、鈴木崇朗cuartetoを主宰し、また、小松真知子&タンゴクリスタル、オーケスタ・アウロラ等で活動中。
<http://www.takatoki.jp/jpn/org/>



角脇真

鳥取県出身。6歳の頃からピアノを始め、学生時代はブラスバンドでフレンチホルンを担当。東京音楽大学作曲指揮科、映画放送音楽コースへ進学、その頃出会ったジャズに次第に没頭するようになり、大学を中退した後、アメリカ、ボストンにあるパークリー音楽院へ進学。パークリーでは専攻にPerformanceとJazz Compositionを選択する。2004年にHerb Pomeroy Scholarshipを取得。卒業後はボストンおよびニューヨークにおいて演奏活動をする。帰国後2008年に初のピアノトリオCD "STOP AND GO" をリリース。2009年からはサクソの平山順子のグループに参加、NHKFMの公開録音にも出演する。2013年には2枚目のオリジナルアルバム "Marin Blue" を発表。Jazz Life誌、Jazz Japan誌などにおいて高い評価をうける。またJポップの楽曲をジャズアレンジで編曲し提供するなどアレンジャーとしても活躍。現在は東京を拠点を置き、アーティストのツアーサポート、レコーディング、そして自己のピアノトリオでの演奏活動やピアノ講師としての技術指導など幅広く活動中。